

かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさきまりえん		
19-2	川崎マリエン		
エリア	大師地区	シーズン	通年
	東扇島	日時	
目的	<input type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他		
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input checked="" type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物		



写真提供：(公社)川崎港振興協会

所在地	川崎区東扇島38-1
問い合わせ	(公社)川崎港振興協会
TEL	044-287-6000
FAX	044-287-7922
E-mail	
URL	http://www.kawasakiport.or.jp
交通	JR川崎駅より川05系統バス「東扇島循環」で「川崎マリエン前」下車 徒歩1分



基礎情報

- 港と市民を結ぶアメニティ・スポット。正式名称は川崎市港湾振興会館。国際貿易港である川崎港のシンボル。港を一望できる高さ51mの展望室や、ビーチコート、テニスコート、体育室、バーベキュー場、スカイレストランなどの施設がある。
- 平成17年(2005)10月に夜光2丁目の千鳥運河で発見されたホオジロザメの剥製が、交流棟1Fのコミュニティホールに展示されている。体長約4.8メートル、胴回り約2メートル、体重は約1.1トンでオスとしては世界最大級の剥製標本。

由来・エピソード

- 平成4年(1992)、市民のための港づくりを推進していくために建設された。愛称の「マリエン」とは、マリ(海)とエントランス(玄関)から成る造語。その名の示す通り、世界に広がる海の玄関をイメージした凱旋門型のユニークな外観が印象的である。業務棟、交流棟とタワー棟、屋外施設からなる。
- 地上51mの展望室からは川崎港、東京湾、アクアライン、房総半島までのパノラマの絶景が楽しめる。スカイレストラン「フロンティア」は客席数81席、ダイナミックな川崎港の眺望と充実したメニューのランチを楽しむことができる。
- 交流棟1階のマリエンシアターは100席の座席が設置され、川崎港紹介映像などが上映されている。また、交流棟2階には友好港であるベトナム・ダナン港から寄贈された漁舟「ゲイバウ」が展示されている。またフロアには、かつて「のり養殖」を行っていた市民から寄贈された道具類も展示されている。
- 毎年10月上～中旬にはマリエンを中心会場に「川崎みなと祭り」が開催される。

補足・その他

- 開館時間は午前9時～午後9時、年末年始(12/29～1/3)は休館。
- 展望室は入場無料。駐車場は24時間オープン、1時間未満の使用は無料。

関連シート

- (19-3)川崎の海苔づくり資料室
- (19-4)川崎みなと祭り
- (28-1)港湾施設(埋立地)
- (28-2)川崎港・運河